



**ナカムラ病院**

介護老人保健施設 **まいえ**

医療法人PIA

グループホーム **つばい**



特別養護老人ホーム **陽光の家**  
 陽光の家 在宅介護支援センター

社会福祉法人双樹会

ライフケア **銀の杖**

株式会社ザ・メニュー

介護用品販売、貸与・住宅改修

# C&C コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1 TEL(082)923-8333(代)  
 ホームページ <http://www.pia-gr.or.jp/>

## 年初めに 当たっての願い

既にご存知のように厚労省は昨年、いわゆる療養病床の再編を決定しました。

即ち現在ある介護型の療養病床十三万床を平成二十三年度末をもって廃止し、二十五万床ある医療型の療養病床は十五万床に減少させるというものです。

このことにより大きな不安、困惑が生じています。

昨年十月に発表された日本医師会による、厚労省の原案通りに再編が行われた場合の医療型における影響度調査によると、入院の必要はないが、かといって在宅や施設などの受け入れが不可能な、いわゆる「介護難民」が四万人発生する、そして厚労省が入院は必要ないと判定するが、実際は入院を必要とする「医療難民」が二万人発生すると推計しています。

また厚労省は介護型を廃止した後には老人保健施設(以下老健)等

にしなさいと病院に勧めています。

私方でも二病棟は老健に転換せざるを得ない状況ですが、そうすると療養病床の場合は患者さん百人あたり医師三人、看護職十七人、介護職二十六人で対応しています。が、老健になると同じ百人に対して医師一人、看護職九人、介護職二十五人となり医療、看護の密度が格段に落ちることになります。

これらのことについて十分な議論もなく厚労省は療養病床計二十三万床の削減を決めたのです。

そして地域ケア整備指針(案)を策定し、都道府県における地域ケア整備構想の作成を指示しました。それを受けて広島県でも「地域ケア整備推進委員会」が設置されて、昨年十二月十五日に第一回目の会合が開かれました。

そして平成十九年秋を目途に広島県の地域ケア整備構想をまとめることになりました。

いずれにしても国の財政が逼迫しているから、医療、介護の費用を一層抑えようというのが国の大方針ですから、このまま進めば本人、家族の負担は更に増大し、高齢者ケアの質の低下は免れそうもありません。

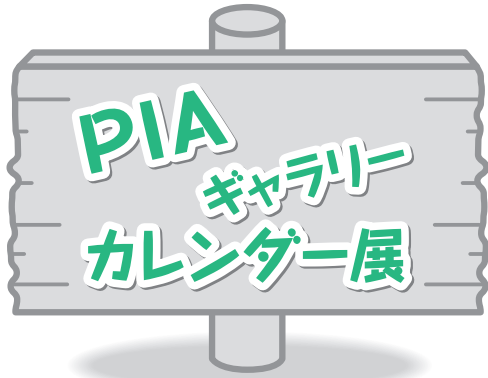
せめて先進国の一員として恥ずかしくないように、医療、介護にお金を使って欲しい、というのが年初めに当たっての願いであります。

本年もよろしくお願い致します。

医療法人ピーアイエー

理事長 中村 英雄





▲ 個性的な作品が勢ぞろいです!

患者さま、利用者さまの作品を飾ったカレンダー展も、今年で三回目となります。今年は院内保育の子どもたち、職員も参加し、一日一枚のカレンダーをみんなで作りました。「一日一日を大切に」との思いがこめられた三六五枚の作品たち。訪れた患者さまは、自分の作品を探しながら、楽しそうに鑑賞しておられました。

ナカムラ病院リハビリテーション科  
作業療法士 山岡まゆみ

# PIA 家族会

お薬の豆知識



**Q:** 薬を飲み忘れてしまったら？

昨年十一月十八日(土) 第四十 一回家族会を行いました。今回は 長島悦子薬局長より「薬の豆知識」と題してお話がありました。ここで家族会の中で紹介された豆知識の一部を皆さまにもご紹介したいと思います。

- A:** 次に飲むまでの時間の間隔が目安。間隔が短すぎると飲まないようにする。
- Q:** 処方された薬は症状が治まってきたら飲まなくてもいい？
- A:** 途中で勝手にやめてはいけません。処方された薬を全部飲んで初めて治ると思ったほうがよいでしょう。
- Q:** 食間とは？
- A:** 食後約二時間。または空腹時。

ナカムラ病院  
相談指導員 木本 悠香

## 第17回 KUMAMOTO 全国介護老人保健施設大会 in 熊本

平成十八年十一月八日から十日の三日間、熊本市のグランメッセ熊本、ホテル日航熊本、熊本ホテルキャッスルを会場に、第十七回全国介護老人保健施設大会が開催されました。今回の大会テーマは「新たな包括的地域ケアを目指して〜在宅ケアの拠点とりハビリテーション〜」。シンポジウム、パネルディスカッションや研究発表等が行われ、四八〇〇名余りの参加者が一堂に会しました。まいえからも七名の職員が参加し、一名が発表を行いました。



### 御破算で願ひましては…

まいえ1介護職 谷本 正樹

頭の体操になればと懐かしいそろばんを使用し計算問題に取り組みました。活動を通し利用者さまに日頃聞けない話や昔のことなどを回想してもらう良い機会となり、個別でかかわることの大切さに改めて気付くきっかけになりました。今後もこのような個別に対応できるような利用者さまのレクリエーション活動を、これからも考え、提供できるように工夫していきたいと思ひます。

こんな発表をしてきました

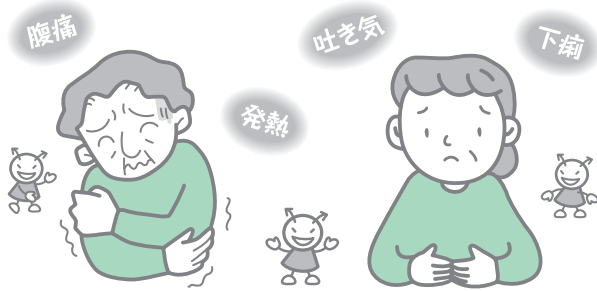
# 家庭の医学

その⑫

## ～「感染性胃腸炎」 「ノロウイルス」について～

感染症胃腸炎が大流行しています。原因はノロウイルスと呼ばれる小型球形ウイルスです。昔から食中毒や腸カゼの原因として知られていましたが、命名されたのは4年前のことです。感染経路はほとんどが経口感染です。ウイルスに汚染された食品を食べた場合(生ガキ等)、糞便や吐物から人の手を介して感染する場合、集団生活では直接飛沫感染を起こす場合などが考えられます。潜伏期間は1～3日<sup>注)</sup>で、吐き気、下痢、腹痛、発熱が1～2日あり、ほとんどが治癒します。高齢者では持病が悪化して、亡くなる場合もあります。特効薬はなく、対症療法として、脱水症があれば、輸液をします。予防法は、ウイルスを口に入れない様に、充分に手を洗う。調理者はマスクをし、生の食品の取り扱いには充分注意が必要です。

ナカムラ病院 医局長 小坂 幸子



注) 飛沫感染とは…嘔吐物や便が飛び散った場合、その粒子を介して起こる感染のこと。

# 「栄養ケアマネジメント」

一年間を  
振り返って



平成十七年十月の介護保険の改定にともない、栄養科の方でも、患者さまひとりひとりの栄養状態を把握し、またご家族さまや他職種の意見を聞く場を持ち、その方に適した食事を提供する「栄養ケアマネジメント」を開始しました。この一年を振り返り思うことは、他職種の協力を多々に受けながら、少しずつではありますが、患者さま

の栄養面でお役に立てているように思うのですがいかがでしょうか？  
〈栄養ケアマネジメント〉を開始するに当たり、不安と悩みを抱えながら開始し、一年経った今でもあまり解消されたように思えないところもあります。  
しかし、今後はもっと「栄養ケアマネジメント」がご家族さまや他職種との話題の一つとして情報

を共有できるように努力していきたいと考えております。  
また、今日まで進めてこれたのもご家族さまや他職種の理解と協力のおかげだと感謝し、今後もお願ひしたいと思っております。  
ナカムラ病院  
栄養科主任 前原 陽子

※「栄養ケアマネジメント」について、詳しくはC&C第47号をご覧ください。



満足度調査  
ご家族コメント



今回も、平成十八年満足度調査でご家族からお寄せいただいたご意見を、一部紹介させていただきます。次回からは、ご意見に対する返答を掲載する予定です。

- 面会に行った時、色々様子をお聞きして下さり安心してお願いでき、喜んでいきます。
- どなたも明るく声を掛けてくださり、沈みがちな気分を和ませていただいています。
- 無理を頼んでいるので、まあこんなものかな、と思っている。でも、ありがとございます。
- 季節行事、外の空気を味わう事も体にとってはいいことで、大いに喜んでおります。
- もう少し笑顔があればいいと思います。
- 週一度の訪問のため、様子が変化しています。面会時にももう少し時間を作っていただき、双方からの情報交換を詳しくお願いしたいです。
- 病状説明を具体的に頂ければ安心です。一寸、雰囲気足が重たい。少しファミリー的ムードがあってもよいのでは。

ナカムラ病院

相談指導室

**陽光の家通信**  
 ユニットケアシリーズ Vol.13  
**【外出・外泊編】**

陽光の家では、積極的な外出、外泊を目指しております。

十一月六日には、毎年恒例に行っている、芸能発表会の観覧に利用者さま六名が参加されました。多くの方々との交流や、舞台上での歌や踊りに触れた利用者さまが、多くの笑顔と元気をお土産に持って帰って下さいました。

また、ご家族さまと昼食を楽しんでいただくため、短時間の外出を増やしたり、外泊、日帰り旅行、一時間程度のドライブ等実施しております。以前、こちらの陽光の家通信でも、ご紹介させて頂いた、特養のスローガン“選ぶことのできる生活”の一つのかたち



**避難訓練の巻**

平成十八年一月八日発生した長崎県のグループホーム火災事故では死者七名という大惨事となり、尊い命が奪われました。私達職員

は消火訓練を実効性のある形で行う必要があると認識し取り組みました。入居者を安全に誘導し確実に避難することが第一に大切であることを、身をもって知ることができました。最後に消防署の方より、消火器の使い方、避難時の注意事項などについて説明していただき、皆さん真剣に聞いておられました。夜勤者は一名の為、他の施設への連絡や緊急時の連絡方法など常に確認しておきたいと思えます。

グループホームつばい  
 介護職 打田 弘子



▲もしもの時のため、皆さん真剣です

ではないかと、これからも機会を増やしていきたいと考えております。

今後もこのコーナーで、外出や外泊の様子をお伝えしていきたいと思えます。

これからの寒い冬も利用者さまの温かい笑顔で、ポカポカと心も体も暖まって過ごせそうです。

**お問い合わせ**

特別養護老人ホーム 陽光の家  
 ユニットリーダー 原 いずみ  
 中山 安恵  
 TEL082(921)8211  
 FAX082(921)6651

**ちよつと工夫して  
 楽しくお食事!!**



誰しも毎日、三度の食事を出来る限り自分の力で美味しくいただきたいものですが、手先の震えや力の減退によって食べものがうまくつまめない、口に運べないということが起こります。そのような時に握りやすく設計された箸やスプーンを使用することで口の中になまタイプの箸やスプーン・フォ

ークの中からご自分に合った用具を選ぶことでリハビリにもなり、日々の食事時間を楽しむことが出来るようになればいいですね。

**お問い合わせ**

(株)ザ・メニュー ライフケア銀の杖  
 店長 小原 和子  
 TEL082(272)6868  
 FAX082(272)6863

# 在宅介護の助っ人!!



第12弾

## ～包括的・継続的 ケアマネジメント支援～

4月からスタートした地域包括支援センターの役割、基本機能、活動状況について、3回にわたり紹介しています。最後となる今回は、包括的・継続的マネジメントについてです。助っ人は、広島市城山・五日市観音地域包括支援センター主任介護支援専門員の門脇宏樹さんです。

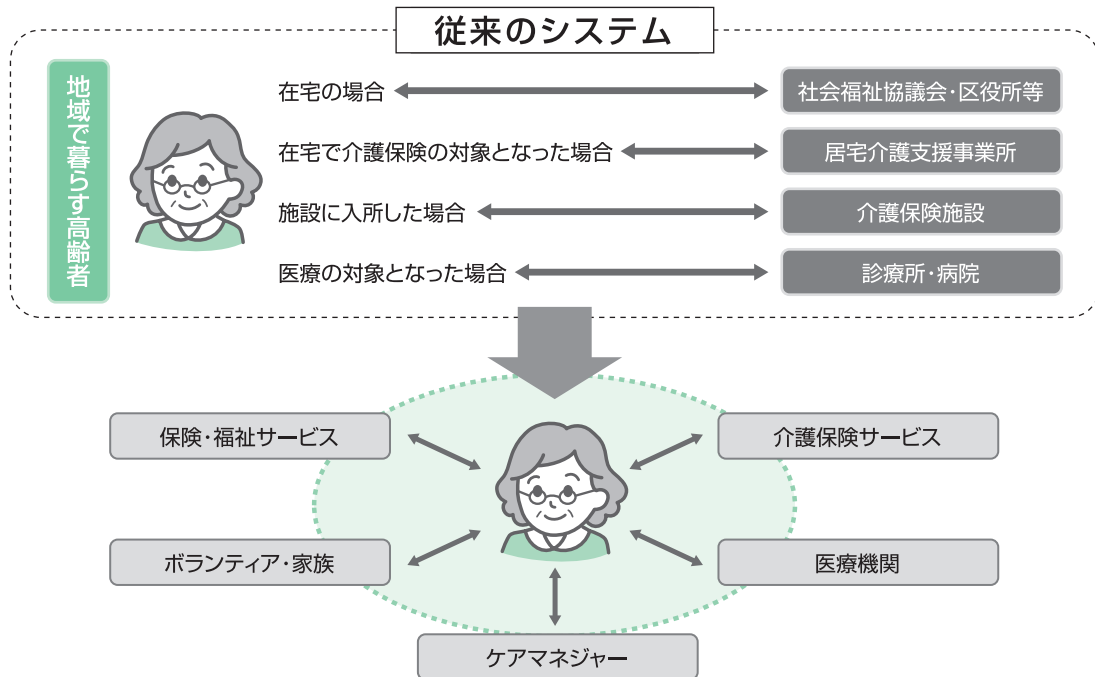
### さまざまな方面からみなさんを支えます

高齢者(利用者)のみなさんに直接支援するほかに、地域の中で活動していられるケアマネージャー(介護支援専門員)さんたちが円滑に仕事ができるように支援を行います。また、高齢者のみなさんが、より暮らしやすい環境(地域)にするために、医療機関を含め、さまざまな関係機関(家族・近隣・ボランティア・民生委員)との連携をはかりネットワーク作りを力を入れます。

- たとえ一人暮らしになっても…!
- たとえ介護認定で「非該当」と判断されても…!
- たとえ認知症になったとしても…!

高齢者のみなさんが、住み慣れた地域の中で生活できるような、地域になるように応援いたします

### 包括的・継続的ケアマネジメントの考え方(地域包括ケアシステム)



地域包括支援センターが平成18年4月に開設し、約10ヶ月。まだまだ地域に根ざしたセンターではないと思っています。

地域の中に早くとけこみ、周知されるセンターになり、地域の中で、生活の応援ができる地域包括支援センターになろうと思います。

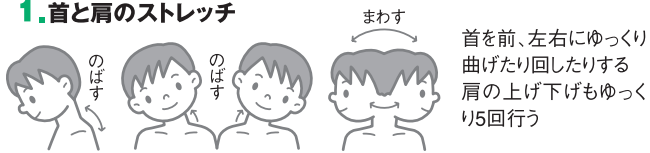
# 介護ワンポイントアドバイス④

## Nursing One Point Advice

### えんげ ～嚥下体操～

食前に行うと効果的な口の準備体操、「嚥下体操」を紹介します。高齢になると身体の機能が低下するのと同じように、食事に必要な「食べる力＝摂食」「飲み込む力＝嚥下」も弱くなります。豊かな食生活をいつまでも続けていくためにも、この体操を続けてみませんか？

#### 1. 首と肩のストレッチ



首を前、左右にゆっくり曲げたり回したりする  
肩の上げ下げもゆっくり5回行う

#### 2. 顎の開閉



口を大きく開けて、その後唇に力を入れてしっかり閉じる

#### 3. 舌の運動



舌を出したり、上下左右に動かしたりする  
5～10回程度

#### 4. 発声練習



「パ」「タ」「カ」を強くしっかり発音する  
それぞれ5～10回程度

#### 5. 唾液の嚥下、咳、深呼吸



つばを1回飲み込んで、咳と大きな深呼吸をして終わり

ナカムラ病院リハビリテーション科 言語聴覚士 森 利恵

# FROM ボランティア

今回は陽光の家でボランティアの方が御指導くださっている生け花のクラブ活動を介護スタッフの岩本陽子さんが紹介します。

陽光の家では月に二回、生け花のクラブ活動を、ボランティアの方の協力を得て行っています。「ほほえみ」というユニットで、入所者さま五、七名程度でこじんまりと行っています。

大きな花器に生ける方もいれば、マグカップでフラワーアレンジメントをされる方もいます。昔生け花を習っていた方も、花を生けるのはこれが初めてという方もいますが、各々自分流の生け花を、ボランティアの方の指導を受けながら楽しんでいます。

正月には葉牡丹、春には梅、お盆には蓮の花、秋にはほおずき、と季節の花を選んでいきます。外に出て季節を感じることに少ない入所者さまに、目で季節を楽しんでいただいています。

クラブ活動中は珍しい花を見て職員へ尋ねたり、新しい花に興味を示したり、お互いの作品を眺め誉め合ったりと皆さま満足そつです。また、自分の生けた花を自室に飾ったり、正面玄関に飾って見に行ったりする姿も見かけます。花が一輪あるだけで、入所者さま同士の会話が弾み、ユニットが明るくにぎやかになっています。

# スタッフインタビュー



今回はナカムラ病院開設時から勤務し、昨年末に勤続28年を迎えた准看護師の箕越淳子さんにインタビューしました。

Q. ナカムラ病院に勤務してから一番の思い出は？

A. 介護職として勤務しながら看護学校に通い、資格を取得したこと。

Q. 趣味や習い事は？

A. 大正琴・太極拳・和太鼓・水泳・料理教室・洋裁・演劇鑑賞

Q. 役に立った趣味は？

A. 当院の演奏会や病棟行事で大正琴を演奏しています。また、洋裁をしているので、患者さまのエプロンや車椅子のカバーを作っています。

Q. 大正琴の魅力は？

A. 楽譜も読めなかった自分が抵抗なく、弾くことができ、レベルアップしていく楽しさがあります。また、演奏を聴いて、大変喜んでくださる方がいることです。

Q. 元気の秘訣は？

A. 快食快便！ストレスや考え事を残さずに入眠すること！

# いきいき行事だより

## 10月

- 運動会(まいえ1)
- 観音小学校運動会(つばい)
- バスハイク  
(B5、B6、B7、A3、まいえ1、まいえ2)
- ハーモニカ演奏会  
(A3、にぎや家、つばい)
- 誕生日会(まいえ1、つばい)
- 紅葉狩り・誕生日会(B1)
- 紅葉狩り散歩(B3)
- 料理教室(まいえ2)
- 院内喫茶(まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ2、にぎや家)
- 外食ツアー(まいえ2)
- ふれあいコンサート(全体行事)
- 第27回広島市老人ホーム芸能発表会  
(陽光の家)
- 物故者慰霊祭(陽光の家)
- 家族会 秋の収穫祭(陽光の家)
- 観音台公民館湧水まつり(つばい)

## 11月

- ハーモニカ演奏会  
(B7、A3、にぎや家)
- カラオケ喫茶(B6)
- 料理教室(まいえ1、まいえ2)
- 院内喫茶(まいえ1、まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 外食ツアー(まいえ2、つばい)
- バスハイク(B7、にぎや家)
- 誕生日会・フルーツバイキング(B1)
- 誕生日会・フルーチェ作り(B3)
- 誕生日会(まいえ1、つばい)
- ミニ運動会(まいえ2)
- ボランティア「鼓遊会」による  
和太鼓演奏会(B5)
- 買い物・お茶(つばい)
- 大正琴演奏会(全体行事)

## 12月

- チャリティーバザー(つばい)
- 年賀状作り(B7)
- ハーモニカ演奏会  
(A3、にぎや家、つばい)
- クリスマス会  
(全体行事、B1、B5、B6、A3、まいえ2)
- 誕生日会・クリスマス会(まいえ1)
- クリスマス食事会(つばい)
- 家族会 忘年会・クリスマス会  
(陽光の家)
- 料理教室(まいえ1)
- 年忘れ忘年会(にぎや家)

十一月十八日、B5病棟において、広島工業大学のボランティア「鼓遊会」による和太鼓演奏会を開催いたしました。

普段、病室で過ごされる患者さまも、この日ばかりは全員参加され、待ちに待った演奏会です！和太鼓の演奏はとても三名とは思えぬほどの迫力ある演奏でした。

ある患者さまは涙を流され、「ええねー。生きててよかった」と感想を述べられていました。また、職員が驚かされたのは、普段黙ってうつつむいていることの多い患者さまが、演奏が始まったと同時に目を開け、太鼓に合わせて手でリズムをとり始めたことです。「和太鼓は人間の魂をも揺さぶるすば

## 和太鼓演奏会

若人の力強さに  
うっとり



▲3人の息はピッタリ!

らしい楽器なんだ」と、とても感動いたしました。

演奏会の後は、皆でワイワイと楽しく、たこやきをいただきました。患者さまは普段、甘い物は食べてもソース味の物はなかなか食べる機会がないせいなのか、「久しぶりに食べたね」「おいしい」と、大好評でした。中には、「こどもの頃を思い出すね」と言われる患者さまもおられました。

患者さまだけでなく職員をも魅了した和太鼓演奏会。今後も定期的に開催していけたらいいなと思えました。

ナカムラ病院

B5病棟 佐山 尚子

# PIA 理念

## 我々は幸齢社会を創ります

我々は、今後増大する高齢者の医療、福祉の要望や要請に対応したサービスを創造する社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や負担を軽減し、安心して残りの人生を幸福に送って頂ける環境とサービスの創造と提供を行います。

# 看護・介護の理念

我々看護・介護職は患者さまの自立を目標に精神的、肉体的苦痛を軽減し、尊厳を持って療養生活ができる看護・介護を提供します。



2月→4月

### 今後の予定

※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	2月4日▶3月31日 ポエムピクチャーアーティストMIKAKO 「心の季節」展
	4月1日▶5月31日 アトリエ・ビジュアル教室展～パソコンで描く絵画～ &くわはらゆみ作品展
第二展示コーナー	2月4日▶4月30日 フォトグラファーKODA 「ミニチュアに見える風景写真」展



相談室

「相談室だより」を作成しています。不定期発行ですが、相談員を身近に感じていただき、活用してもらえれば幸いです。

各病棟に掲示しておりますのでご覧いただければと思います。ご意見ご感想があればお気軽に声をおかけください。

相談指導室 石田・新宅



B4病棟

ご家族との「架け橋」になれば…との願いを込め発行しています。患者さまの日頃の様子や行事、ケア内容など、写真をたくさん使いエレベーター前、詰所横に掲示しています。今後も更に内容を豊富にし、定期的に発行していきますので、機会があればお立ち寄りください。

看護職 猫田紗恵子

# ボランティアをお願いします!!

## あなたの特技を 病院・施設で活かしませんか?

病院・施設ボランティアは利用者さまの生活に快適さと潤いを運ぶ活動です。個人でもグループでも結構です。現在、ハーモニカ演奏、手工芸、お茶席、生け花教室の講師、メイクアップ、ギャラリーの展示作業等でボランティアの方々にご活躍いただいています。

お問い合わせは…

**TEL082-923-8333** (担当・中田)

# 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

さて今年の干支は亥ですが、猪の肉は食べましたか? 猪の肉は万病を防ぐと言われていて、無病息災の象徴とされていそうです。猪鍋でもして心身ともに元気な一年にしたいものですね。そして今年もC&Cから元気な明るい記事をお届けしたいと思います。本年もよろしくお祈り致します。

(I)